

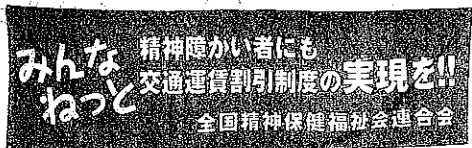
# 交通割引対象拡大を

## 精神障害者の家族ら署名活動

交通運賃の割引制度を精神障害者にも広げてほしい。来年4月の障害者差別解消法の施行を前に、家族らでつくる公益社団法人「全国精神保健福祉会連合会」（東京都豊島区）が署名運動に取り組んでいる。

JR運賃や高速道路の通行料金が半額になるなど、身体・知的障害者に

街頭署名のため作成した横断幕



はさまざまな交通割引制度がある。ところが、精神障害者が対象となると、また公共交通の一部などに限られているのが現状だ。「精神障害者は収入が少なく、交通費が外出を阻んでいる」。同連合会の小幡恭弘事務局長代行はそう指摘する。同連合会が昨年末から今年2月、全国の約5千家族にアンケート調査を行った結果、精神障害者の平均月収は約6万円、一般企業で働く人はわずから5・7%だった。収入

### 低収入 外出控える現状 来春国会提出 100万人分

が少なかったため、7割以上が家族と同居。月に使う交通費は3千円以下が半数を占めた。アンケートには「せめて1年に1度くらいは遠くへ旅行したい」「割引

があれば）映画や買い物、ハイキングなどに興味を抱くこともできる。」「切実な声が寄せられた。割引がなかなか実現しない理由として、交通企業の収益を圧迫する可能性が指摘されているが、「多くの人が外出しない生活を強いられており、（割引があれば）むしろ需要喚起になるのでは」と小幡さん。精神疾患が原因で引きこもりがちになる人は少なくなく、外



第8回全国精神保健福祉家族大会では、署名運動の拡大が決議された。2015年9月、福岡市

出が増えれば、病状の安定や回復につながる可能性もあるという。「世間に迷惑を掛けては」という思いから、当事者や家族がこれまで声を上げることがためらう傾向があったのも事実という。そんな中、9月に福岡市で開かれた全国精神保健福祉家族大会では、自治体や交通企業への働き掛けに加え、広く一般の人たちにも、署名への協力を訴えていくことが決議された。12月上旬には障害者週間に合わせ、全国で家族会などが街頭署名活動を行う予定だ。

署名は来春の国会提出を想定し、100万人分を集めることを目指している。小幡さんは「精神疾患への偏見はまだ根強いのが現実だが、せめて身体・知的障害者との格差をなくしてほしいというのが願い」と訴える。問い合わせは同連合会 電話03(6907)9211。

### 目を閉じても見える人

### てかがみ

あかね色、晩秋の空を、真（ま）せきば、にかられる。うった夫の10、近づいたか、入院の前、いた夫は、もむなく、まり込んで、私が所用で、安げにナ、りしめて見、心に刺さ、心にぽっ、を少しずつ、たのは、彼、なかつた孫、と笑顔、姉、味の仲間の、た支えに他、生前、夫、

てかがみ短信  
来月11日忘年会  
松山

松山地区会は12月11日市大手町1丁目のホテルシティ松山2階「さわら」忘年会を開きます。午前